

新米 “のらえもん米” 販売の様子

1, 日 時: 2015年11月7 (土) 午前11:30~12:30

2, 場 所: いきいき館駐車場

3, 販売量: のらえもん会員・・・・・・509kg

北三谷小 給食用・・・・・・30kg

5年生・・・・・・318kg

合 計 857kg

4, 販売の様子

大洪水にみまわれた常総市でした。が、宅間さんの田んぼは、冠水はあったものの流される事はなかったということでした。そのため、例年通り収穫できたようでした。車の中にはたくさんの米袋と野菜を積んで、宅間さんが現れました。

新米の販売は、今年は800kgを超え、昨年の600kgを大きくうわまりました。注文した人たちは、早くから取りに来てくれました。

葉のついた1.5メートルもある大根と「大きい！」白菜は、「のらえもん米を購入してくれた人へのお礼として差し上げたい」と、笑顔で話してくれました。

通りすがりの人たちも「葉のついた大根がほしい！」というほど、大根がすぐなくなりました。飛び入りで米を購入してくれた人もいて、宅間さんが余分に持ってきていてくれて助かりました。また、「洪水は大丈夫でしたか？」と声をかけてくれる方々もいて、宅間さんは「おかげさまで」と応えていました。

田植えの後の「イチゴ狩り」は大好評だったことを話すと、「いいですよ！」と言ってくれました。「やったー！」来年度の田植えの後は、イチゴ狩りをしてからお昼を食べ、そしてキリンビール工場の見学になります！！

11月下旬、宅間様の家を訪ねました。米の購入としめ縄用のわらをもらうためです。その時、納屋を見学させてもらいました。大きなトラクターの横に、精米機が3つもならんでいるのです。1つめは、白米にする機械です。2つめは、ガラスや石を取り除く機械でした。そして3つめは、米の中でも色の悪いものや虫の食べた跡の残る米をセンサーではじいているのだということでした。

私が小さい頃に食べた米には、ときどき小さな石が混ざっており、口の中で「がちっ」と音がし、あわててはき出したことを思い出しました。それでも、米を食べられることは大変ありがたいことで、そのことで誰も文句を言う人はいませんでした。

米の販売を終わり、宅間さんの車は帰っていきました。その後ろ姿を見ながら「宅間さんのような農家の方がいるから、美味しい米を腹一杯食べられるんだ」と思いました。

田植え・稲刈り体験活動の歩みと新米の購入量

日時	田植え 参加者 もうひとつの活動	稲刈り 参加者 もうひとつの活動	新米購入量 その他
2006年 平成18年	P T A顧問が紹介	9月現地見	
2007年 平成19年	4月1日挨拶へ 4月22日担任挨拶 5月7(月) 5年生44名 教育課程に位置づける、鹿西小	9月10(月) 5年生44名 保護者 4名 担任 4名 教育課程に位置づける、鹿西小	(700kg以上) 鹿西小で、以後継続される
2008年 平成20年	中断	中断	×
2009年 平成21年	中断	中断	×
2010年 平成22年	5月15(土) 66人 茨城自然博物館	9月11(土) 68人 あまりの暑さに、早目に避難！ 神社の境内で虫取	462kg
2011年 平成23年	5月7(土) 54人 いちご狩り あすなろの里見学	9月17(土) 45人 ヤクルト工場見学 反省会始まる	480kg
2012年 平成24年	5月19(土) 61人 筑波山登山 北三谷小5年の参加始まる	9月15(土) 47人 我孫子市鳥の博物館見学	308, 2kg 北三谷小で継続される
2013年 平成25年	5月19(土) 77人 アサヒビール工場見学	9月21(土) 60人 あすなろの里でサツマイモ掘り	326kg
2014年 平成26年	5月18(日) 65人 空豆の収穫 アサヒビール工場見学	9月14(日) 46人 JAXA見学 午後稲刈り、初めて全部の稲を鎌で刈る	397, 8kg 北三谷小 280kg

2015年 平成27年	5月17（日） 54人 イチゴ狩り キリンビール工場 見学	9月13（日） 49人（予定） 中止 鬼怒川の堤防が決 壊し、常総市東側が 大洪水になったた め	509kg 北三谷小 348kg
2016年 平成28年			

とれたて新鮮
新米

米



自然観察会
のらえもん 

2kg